



政府統計

報道関係者 各位

令和5年 11月 20日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 菅沼 伸至

室長補佐 村田 美智恵

(担 当) 成年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7592)

(直通電話) 03-3595-2322

## 第 11 回「21 世紀成年者縦断調査(平成 24 年成年者)」 の結果を公表します

～平成 24 年から令和4年(11 年間)まで、同一の成年世代の男女を追跡調査～

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21 世紀成年者縦断調査(平成 24 年成年者)」の第 11 回(令和 4 年)の結果を取りまとめましたので公表します。

21 世紀成年者縦断調査(平成 24 年成年者)は、平成 24 年 10 月末に 20～29 歳であった全国の男女(及びその配偶者)に対して、結婚の状況、出生の状況、就業の状況などを継続的に調査し、先に実施した 21 世紀成年者縦断調査(平成 14 年成年者)との比較対照等を行うことにより、少子化対策など行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第 11 回調査では、平成 24 年度の第 1 回調査から協力が得られた 5,031 人を集計対象としており、調査対象者の年齢は 30～39 歳となっています。

### 【調査結果のポイント】

#### 1 第 1 回調査からの夫婦の出生の状況

第 1 回調査からの夫婦について、この 10 年間の出生の状況をみると、第 1 回調査時の子どもをもつ意欲を「もちたい」と答えた者の方が「もてなくてもかまわない」「今後子どもは欲しくない」と答えた者より、出生した割合が高くなっている(4 頁 図 2)。

#### 2 夫の休日の家事・育児時間と出生状況

子どもが 1 人以上いる夫婦では、夫の休日の家事・育児時間が長いほど第 2 子以降の生まれる割合は高くなる傾向がある(5 頁 表 3、図 3)。

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。